アルミバン S

取扱説明書

別冊　注文装備品編

よくお読みになってご使用ください。
取扱説明書は車の中に大切に保管してください。

適用車種	トヨタ　ダイナ、日野　デュトロ
適用型式	XZC ／ XZU ／ XKC ／ XKU ／ KDY ／ TRY

TOYOTA AUTO BODY

はじめに

このたびはアルミバン S の注文装備品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はアルミバン S を安全・快適にお使いいただくため、アルミバン S に関して正しい取り扱いを説明してあります。
また、注文装備品はお客様の御注文により異なりますので、お客様のアルミバン S に該当する装備品のところをお読みください。

- 車両の一般的な取り扱いについては、標準車の「取扱書」（別冊）をご覧ください。
- 販売店で取り付けられた装備の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために特に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

⚠警告	記載事項をお守りいただかないと、生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
⚠注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや知っておくと便利なこと、してはならない行為を示すイラストは、下記の表示で記載しています。

アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
知 識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
	してはならない行為

・お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
・ご不明な点は担当営業スタッフにおたずねください。

- 目次 -

各部の名称.....2

専用装置、装備の使い方.....3

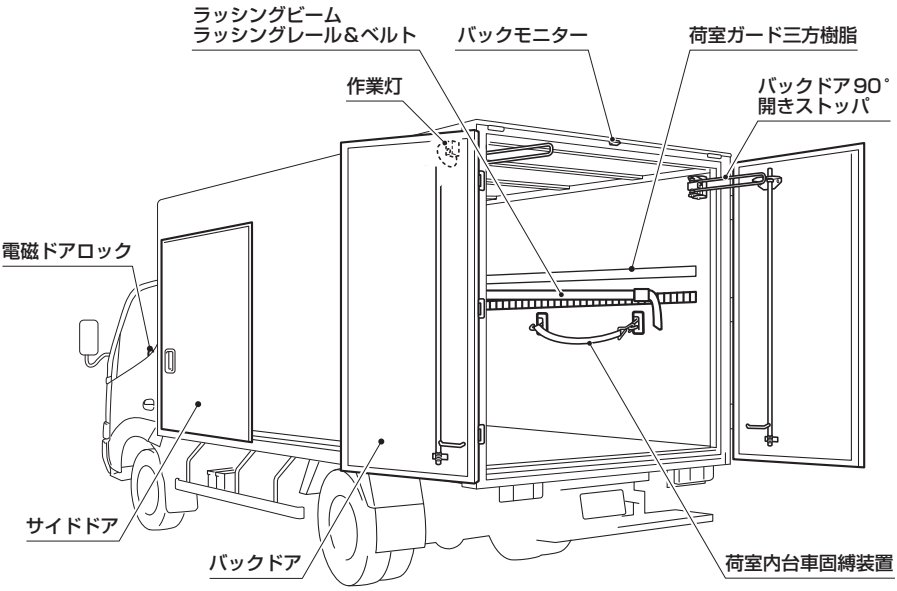
バックドア・サイドドア.....3
電磁ドアロック.....16
作業灯.....17
ラッシングレール＆ベルト.....18
ラッシングビーム.....21
ジョロダー.....22
荷室内台車固縛装置.....23
輪止め・タイヤチェーン掛け.....24
バックモニター.....25

手入れ、点検・整備項目.....26

車の手入れ.....26
定期点検整備.....28
消耗部品.....29
簡単な点検.....29

定期点検整備記録簿.....33

各部の名称


ラッシングビーム
ラッシングレール&ベルト
バックモニター
荷室ガード三方樹脂
作業灯
バックドア90°
開きストッパ
電磁ドアロック
サイドドア
バックドア
荷室内台車固縛装置

専用装置、装備の使い方

バックドア・サイドドア

⚠警告

●ドアを閉めるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認してください。荷室内に人が閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあり危険です。
●車から離れるときは、必ず荷室内に人がいないことを確認し、ドアを閉め施錠してください。誤って人が荷室内に閉じこめられると、中からドアを開けることができなかった場合に、重大な事故につながるおそれがあり危険です。また、盗難のおそれもあります。

⚠注意

●ドアを開けたときは、必ず 90° 開けた位置または全開位置でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアでけがをするおそれがあります。
●ドアを閉めたときは、ドアを軽くゆさぶり、確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと走行中にドアが開き、積荷の落下など思わぬ事故につながるおそれがあります。

参照ページについて

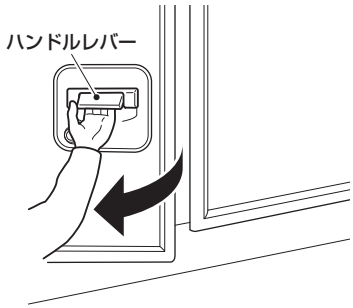
ワンタッチ式バックドア 4
バックドア 90° 開きストッパ 7
バックドア 90° 開きストッパ簡易型.....8
シャッター式バックドア 10
スライド式サイドドア 12
オープン式サイドドア 14

ワンタッチ式バックドア

選択されたオプションによって、ドアの開き方が異なります。次の表を参照し、お車に相当する部分をお読みください。
●先に開く側のドアにハンドルレバーおよび非常用ハンドルが装備されます。

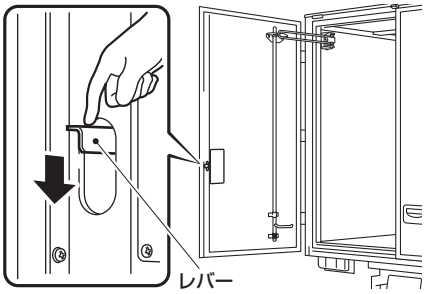
●：装備

ドアの種類	ハンドルレバー		非常用ハンドル	
	左	右	左	右
両先開き	●	●	●	●
左先開き	●	−	●	−
右先開き	−	●	−	●



■車外から開けるときは

ハンドルレバーを手前に引いてロックを解除し、そのまま手前に引きます。



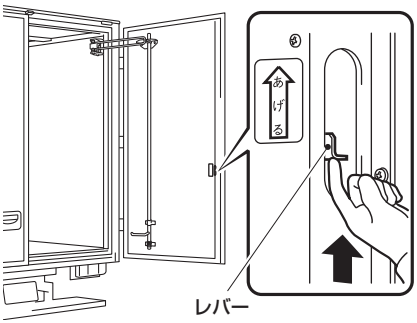
■左ドアの開け方

両先開き／左先開き

車外から開けるときと同様です。

右先開き

レバーを押し下げロックを解除し、ドアを開けます。



■右ドアの開け方

両先開き／右先開き

車外から開けるときと同様です。

左先開き

レバーを引き上げロックを解除し、ドアを開けます。

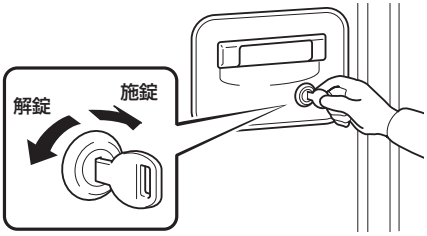
■閉めるときは

開けたときの逆の順で閉めます。

●両先開きバックドアは、左右どちらからでも閉めることができます。

■全開・固定のしかた

カバーを開け（①）、ドアストッパを固定部に差し込みます（②）。

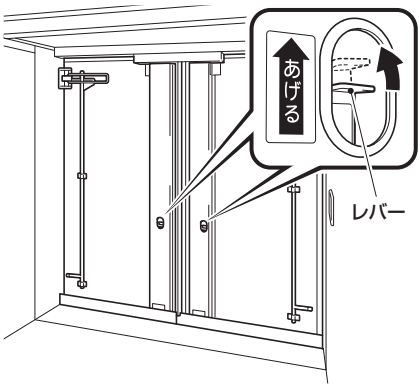


■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

非常用ハンドル

非常用ハンドルはバックドア内側にあります。
荷室内に閉じこめられたときに使用します。（非常用ハンドルは非常時のみ使用し、通常は使用しないでください）



※非常用ハンドルはハンドルレバーがある側のドアのみ装備されます。（上図は両先開き）

■開け方

非常用ハンドルのレバーを引き上げ、そのままドアを押して開けます。

⚠注意

非常用ハンドルを使用してドアを開けるときは、ドアをいきおいよく開けないでください。

- ドアが開いたとき、荷室内から転落するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアが車外の人や物に当たるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

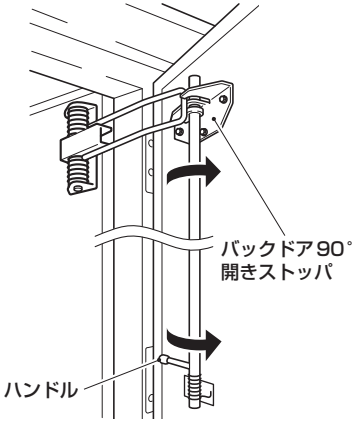
バックドア 90° 開きストッパ

左右開き式バックドア装着車

バックドア 90° 開きストッパは左右のドアに装備されます。

■固定のしかた

バックドアは 90° 開いたところでロックされます。



■全開のしかた

①いったん 45° 開いた状態でハンドルを手前に回します。

②90° 開きストッパをはずして全開にします。

全開にしたときは、必ずドアストッパでドアを固定してください。

⚠注意

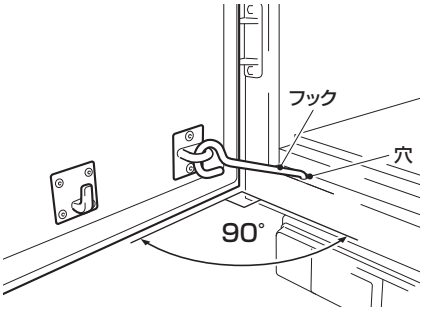
バックドアを開けたときは、必ず以下の状態でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアでけがをするおそれがあります。

- ●90° 開きストッパでロックされる位置までドアを開ける
- ●全開したときはドアストッパでドアを固定する

バックドア 90° 開きストッパ簡易型

左右開き式バックドア装着車

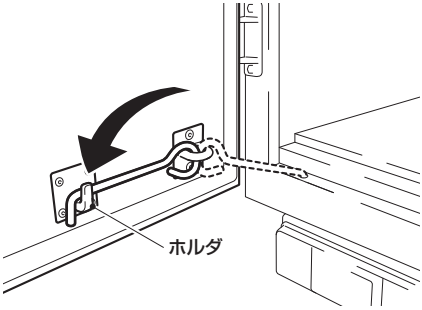
バックドア 90° 開きストッパは左右のドアに装備されます。



■固定のしかた

①バックドアを約 90° 開きます。

②フックをホルダから取り出し、ボデー側の穴に差し込みます。



■全開のしかた

①フックをボデー側の穴から引き抜き、ホルダにもどします。

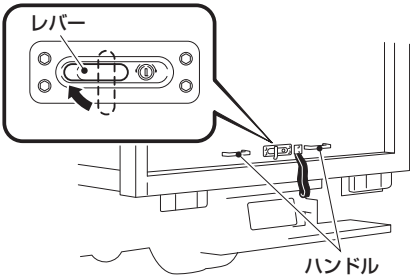
②バックドアを全開にします。
全開にしたときは、必ずドアストッパでドアを固定してください。

⚠注意

バックドアを開けたときは、必ず以下の状態でドアを固定してください。固定しないと風などにより不意にドアが動いたり、傾斜地では自然にドアが動くことがあり、ドアでけがをするおそれがあります。
●90°開いた状態で使用するときは、バックドア 90°開きストッパでドアを固定する
●全開したときはドアストッパでドアを固定する

アドバイス

バックドア 90°開きストッパを使用しないときは、必ずフックをホルダにもどしてください。
●フックをボデー側に穴に差し込んだまま無理にドアを動かすと、フックおよびボデーが破損するおそれがあります。
●フックをホルダにもどさずにドアを閉めると、フックをドアに挟み、フックおよびドアが破損するおそれがあります。

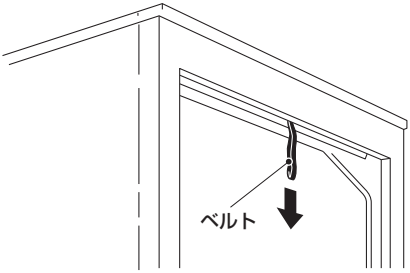


シャッター式バックドア

■開け方

①レバーを右にまわしてロックを解除します。

②ハンドルを握ってシャッターを引き上げて開けます。



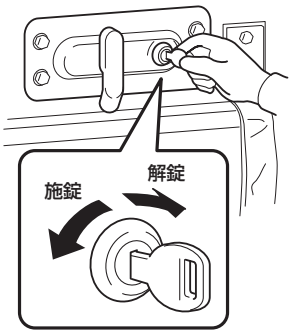
■閉め方

①ベルトを引いてシャッターを引き下げます。

②ハンドルを握ってシャッターを押し下げ、確実にロックします。

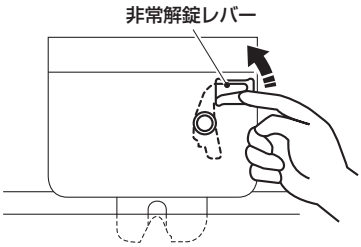
アドバイス

- ●バックドアを開けるときは、ベルトをハンドルなどに巻き付けておかないでください。ドアを閉めるときベルトに手が届かず、ドアが閉められなくなるおそれがあります。
- ●ドアを開けたまま走行しないでください。ワイヤ切れにつながるおそれがあります。
- ●ベルトが損傷した場合はただちに交換してください。



■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、左に回転させると施錠、右に回転させると解錠されます。

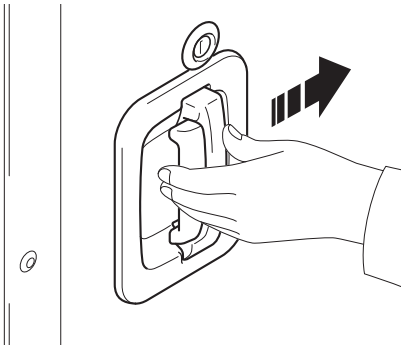


■荷室内から非常解錠するときは

錠カバーの右上の窓から指を入れ、非常解錠レバーを押し上げると解錠されます。

知 識

車外から施錠されていても荷室内から解錠することができます。非常解錠レバーが固い場合は、ドアを下へ押しながら操作してください。



スライド式サイドドア

■開け方

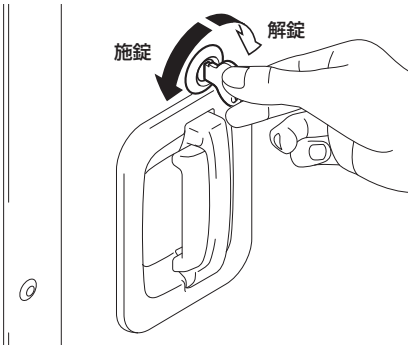
ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。
●全開まで開けると、ストッパスプリングで固定されます。

⚠注意

作業をするときは、必ずサイドドアを全開にしてください。傾斜地では自然にドアが動くことがあり、けがをするおそれがあります。

■閉め方

ハンドルを持ってドアを全閉させるとドアがロックされます。



■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、左に回転させると施錠、右に回転させると解錠されます。

イージークローザー

ドアを半ドアの位置まで閉めると、自動的にドアが動き、全閉になります。

⚠注意

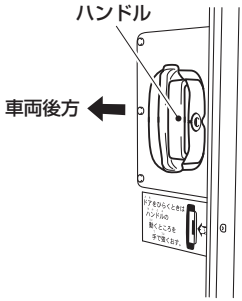
半ドア状態のときドアが自動的に閉まるため、指を挟まないよう十分注意してください。

アドバイス

イージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。無理な力をかけるとイージークローザーの故障の原因となります。

知 識

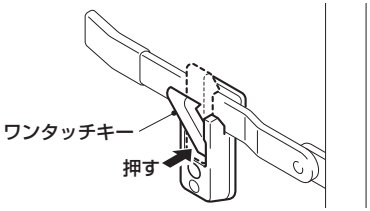
ドアハンドルを引いたままドアを閉めると、イージークローザーは作動しないことがあります。



非常用ハンドル

非常ハンドルはサイドドア内側にあります。

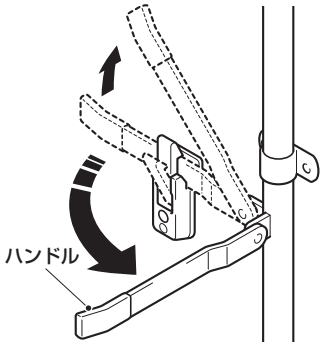
- ハンドルを握り、後方へ引くとロックがはずれてドアが開きます。
- ドアの施錠に関係なく開けることができます。



オープン式サイドドア

■開け方

①ワンタッチキーの下側を押します。

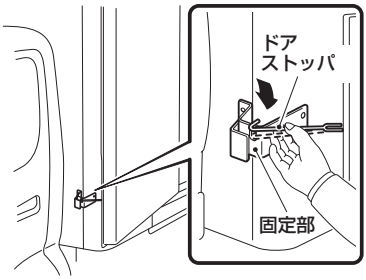


②ハンドルを持ち上げたまま回し、手前に引きます。

■固定のしかた

ドアを全開にしたときは、ドアストッパで固定します。

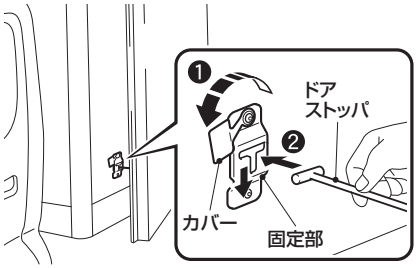
標準ボディ



標準ボディ

ドアストッパを固定部に差し込みます。

ロングボディ、超ロングボディ



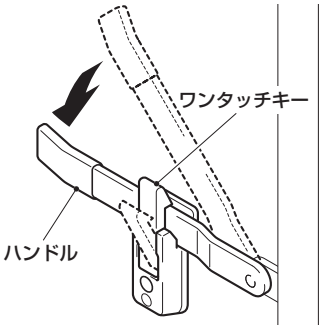
ロングボディ、超ロングボディ

①カバーを開け（❶）、ドアストッパを固定部に差し込みます（❷）。

②カバーを閉めます。

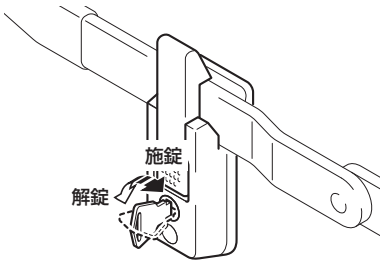
知 識

仕様により、取り付け方法が異なります。



■閉め方

ハンドルをワンタッチキーに差し込みます。
●自動的にロックされます。



■施錠のしかた

キーをシリンダ錠に差し込み、右に回転させると施錠、左に回転させると解錠されます。

電磁ドアロック

ワンタッチ式バックドア装着車
スライド式サイドドア装着車

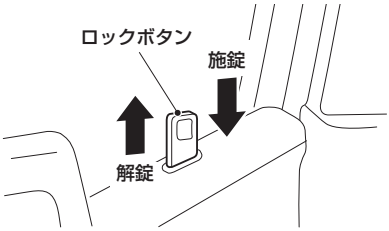
電磁ドアロック

バックドアおよびスライド式サイドドアの施錠・解錠が運転席で同時にできます。

●エンジンスイッチに関係なく使用できます。

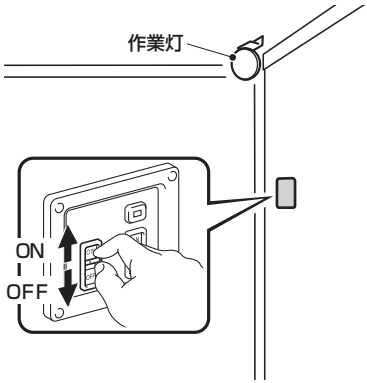
■キーを使っての施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込み、キーを車両前側に回転させると施錠、車両後側に回転させると解錠されます。



■ロックボタンを使っての施錠と解錠

運転席ドアのロックボタンを押し下げると施錠、引き上げると解錠されます。



作業灯

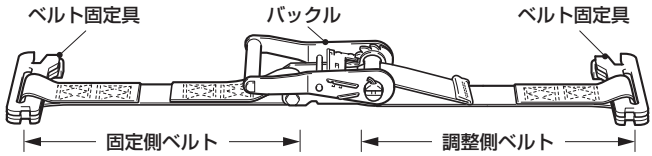
ON .....バックドアを開けたとき点灯し、閉めると消灯します。
OFF..... ドアの開閉に関係なく消灯します。

アドバイス

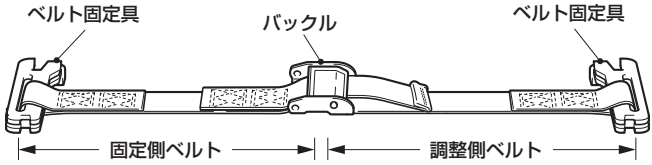
- 作業終了後や長期間車を使用しないときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。バッテリあがりの原因となります。
- 点灯回数で寿命が変わります。必要なとき以外は「OFF」にしてください。
- ルームランプの「ON」「OFF」に連動します。

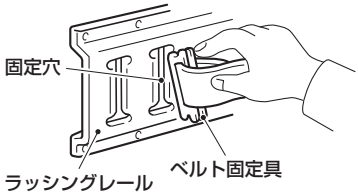
ラッシングレール&ベルト

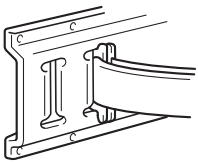
重荷重タイプ



軽荷重タイプ







■ベルト固定具（3 枚一組）の使い方

①固定具中央の 1 枚の上端を人差し指で手前に引いたまま、左右の 2 枚を固定穴の上部に差し込んだ後、下側を差し込みます。

②中央の一枚を押し込みます。

③ラッシングレールの固定穴の中で 3 枚が結合して取り付けができます。

■取りはずし方

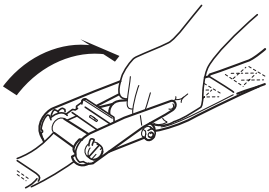
中央の 1 枚を取りはずし、次に左右の 2 枚を取りはずします。

■締め方

重荷重タイプ

①調整側ベルトのゆるみを取り、ハンドルを前後に操作し、ベルトを巻き取りながら締めます。
- ●ベルトは巻き取り軸に 2 回以上巻き取ります。

②ハンドルを完全に倒し、ロック状態にします。
- ●中間状態では使用しないでください。



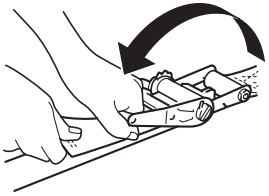
軽荷重タイプ

調整側ベルトを矢印の方へ強く引いて締めます。

■ゆるめ方

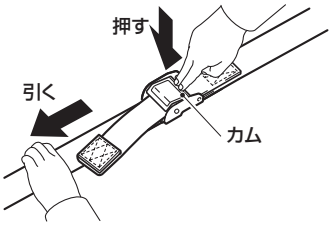
重荷重タイプ

調整側ベルトを引きながらハンドルを 180˚ほど開きます。
- ●巻き取り軸が開放状態となりベルトがゆるみます。



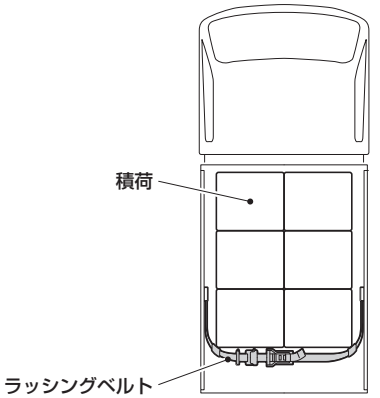
軽荷重タイプ

カムを押して、ベルトをゆるめます。
- ●カムを押しながら調整側ベルトを矢印の方へ引くと、さらにゆるみます。

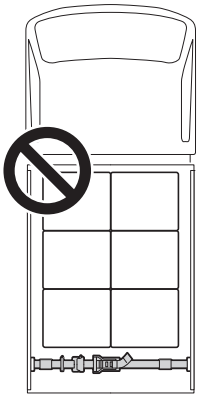


アドバイス

ベルトを水平にかけないでください。荷室内の壁をはがしてしまうおそれがあります。

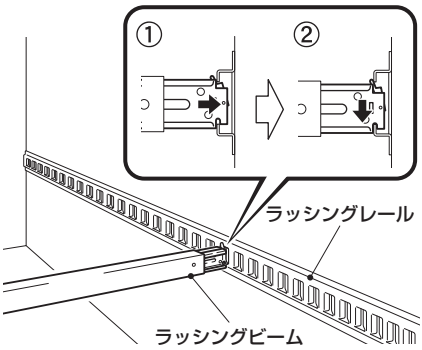


<良い例>



<悪い例>

ラッシングビーム



■取りつけ方

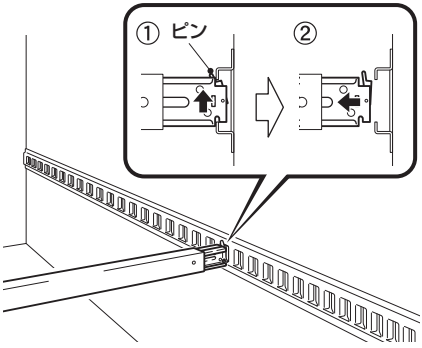
①ラッシングビームをラッシングレールに対して垂直に押し込みます。

②ラッシングビームを下げ、下側のツメをラッシングレールに差し込みます。

- ●ラッシングビームが自動的にロックされます。
- ●反対側も同様に行います。

⚠注意

ラッシングビームを取りつけたときは、必ず確実に取りつけられたことを確認してください。確実に取りつけられていないと、不意にラッシングビームがはずれ、積荷を損傷するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



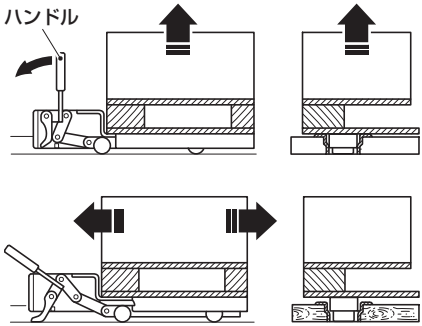
■取りはずし方

ピンを引いたまま、取りつけたときと逆の方法で取りはずします。

- ●反対側も同様に行います。

ジョロダー

荷台上に組み込まれた特殊レールおよびこのレールで使用する 2 本のレールを用い、レール上を滑走させ所定の位置に荷物を運び安定させます。



①ハンドルを矢印方向に引きます。
●荷物が持ち上がります。

②荷物を移動させます。

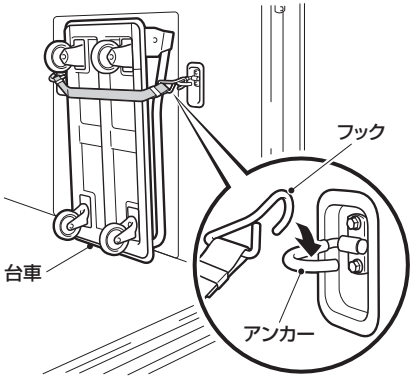
③ハンドルをもとの位置にもどし、ジョロダーを引きもどします。

荷室内台車固縛装置

荷室内後部に台車を格納・固縛することができます。

■固縛可能な台車のサイズ

長さ	幅
900mm	600mm

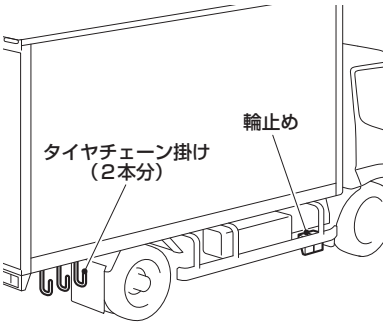


■台車の格納・取り出し

- 台車を格納するときは、台車を立てた状態で、荷室右側のベルトで固縛します。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけておきます。

アドバイス

- 台車を固縛したときは、台車を軽くゆさぶり、台車が倒れないことを確認してください。台車が倒れると積荷・台車および荷室内板を損傷するおそれがあります。
- 台車を固縛しないときは、ベルトのフックをアンカーに引っかけてください。ベルトを放置しておくと、フックが積荷および荷室内板に当たり、損傷するおそれがあります。



輪止め・タイヤチェーン掛け

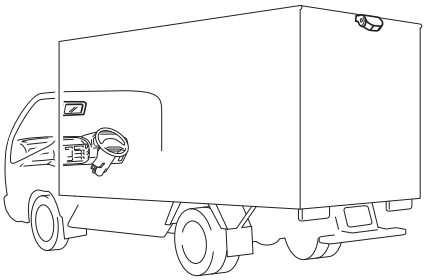
ボデー右側下部に装備されます。

⚠注意

- ●走行前に輪止めが確実に収納されていることを確認してください。収納が不完全の場合、走行中に輪止めが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●タイヤチェーン掛けには３本以上のチェーンを掛けないこと、また均等に掛かっていることを確認してください。掛け方が不安定な場合、走行中にチェーンが落下し、後続車や人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

仕様により、取り付けができない、または、位置がイラストと異なる場合があります。



バックモニター

ここでは簡単な取り扱い方法のみ記載してありますので、詳しい取り扱いにつきましては、お客様のお車に装備されたバックモニターの取扱書をお読みください。

■バックギヤ連動（自動）の場合

バックギヤにいれると自動的に画像を映し出します。

■連続（手動）の場合

バックモニターのスイッチを ON にすると画像を映し出します。

⚠注意

バックモニターの画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。カメラが映し出す範囲には限度があり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。後退するときは、必ず後方および周囲の安全を直接確認してください。

知 識

バックモニターの種類により、操作方法、機能などが異なる場合があります。

手入れ、点検・整備項目

車の手入れ

シャッター式バックドアの手入れ

■日常の手入れ

シャッターカーテンおよびガイドレールに雨等により泥、ほこりが付着すると、シャッターの動きが重くなります。汚れがひどいときは濡れた布等で汚れを落としたあと、かたくしぼった布等で水分をふき取ってください。

■給油について

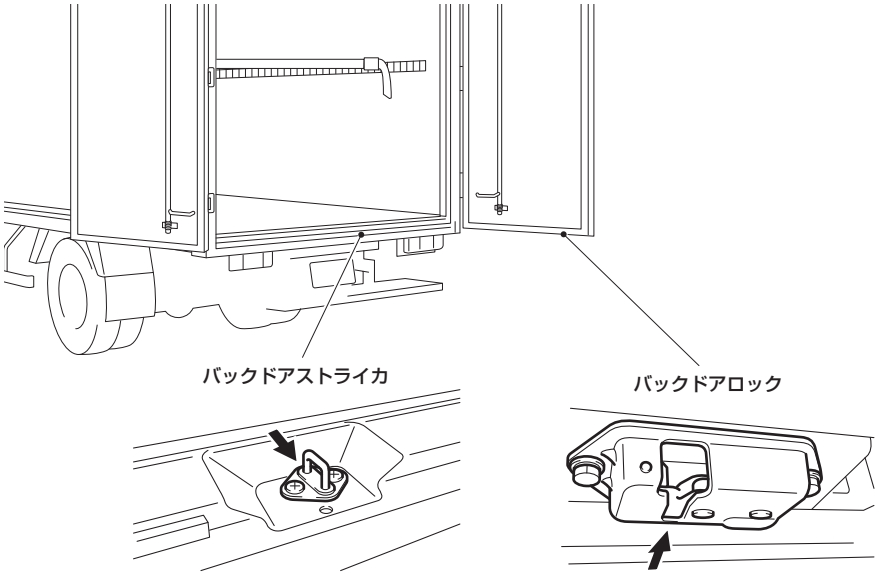
泥、ほこりがなどが付着すると、開閉時に異音が発生する場合があります。
シャッターカーテンとガイドレールのすき間に市販のシャッターオイルをスプレーしてください。（オイルが付きすぎた場合はふき取ってください）

給油脂

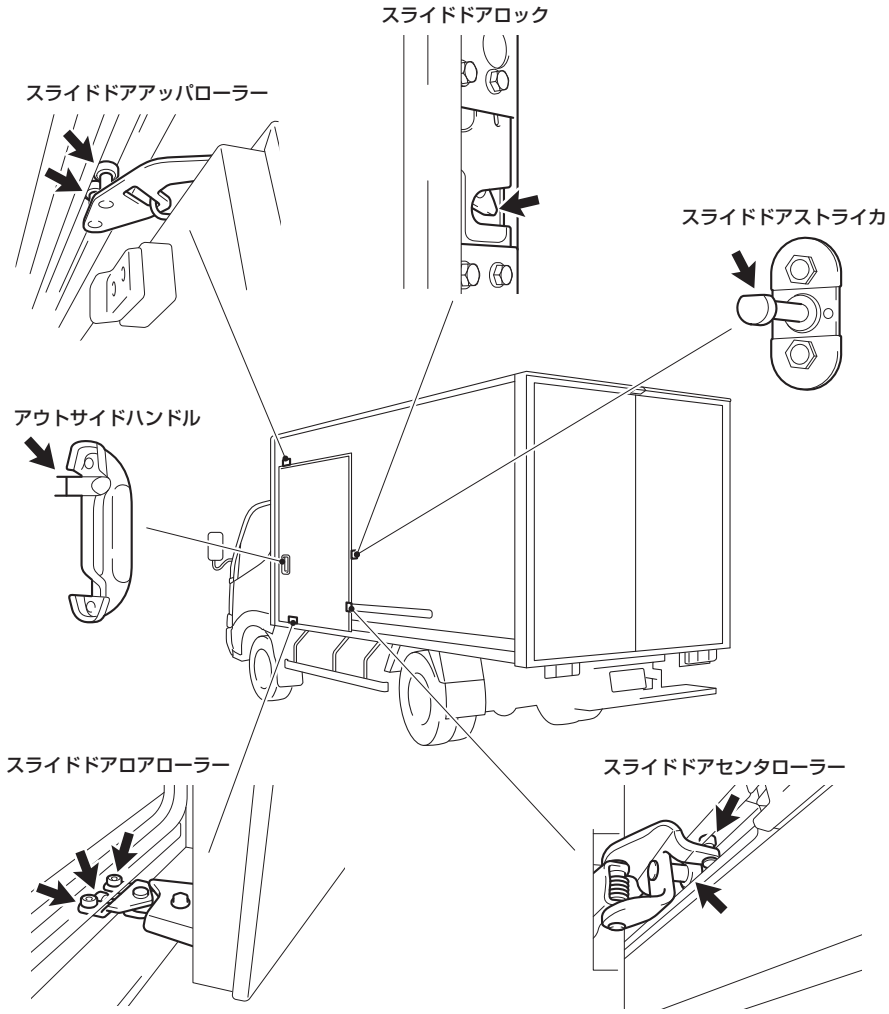
3 か月に 1 度の割合で下記の箇所にグリースを塗布してください。

■給油脂位置

ワンタッチ式バックドア部



スライド式サイドドア部



定期点検整備

故障を減らして長く大切に使うために定期点検整備をお願いします。
点検結果を記録する際には、33 ページの記録簿を A4 サイズにコピーして使用してください。

点検整備項目		点検時期 日常点検	点検時期 12か月ごと	交換時期(年)	備考
電気	作業灯のON-OFF	○	○		
ドア	バックドア・サイドドア ・開閉時の作動状態	○	○		ドア閉まりは確実で半ドア警告灯が消えること、引っかかり、異音がないこと
	・シールの摩耗、破れ	○	○		
	・スライドドアローラーの点検		○		割れ、欠損がないこと
ロック	ワンタッチロック式 ・機能・摩耗・損傷	○	○		
	・非常解錠レバーの作動確認	○	○		軽くロックが解除すること
シャッター	開閉力・ローラーの回転 機能品の変形・損傷・組み付け	○	○ ○		
	ワイヤ ・交換			2	
	・素線切れ・錆・腐蝕		○		
	・ドラム巻き取り		○		ゆるみがないこと
	レールの変形・損傷・組み付け状態	○	○		
	巻き取り機構 ・シャフトの変形・損傷・回転		○		
	・ワインディングドラムの損傷・巻き付き		○		
	・シャフト取り付けブラケット・アンカブラグの機能		○		
	・スプリング機能・十分な反発力		○		
リヤボデー	各部取付部のゆるみ、ガタ、損傷		○		

消耗部品

下記部品は使用頻度・経年変化等により、消耗・劣化する部品です。
点検時に摩耗や損傷状態を見て早めに交換してください。
●交換作業は販売店にお申しつけください。

シャッターワイヤ、各種油圧シールゴム部品、電球・ヒューズ類、油脂類

簡単な点検

作業灯

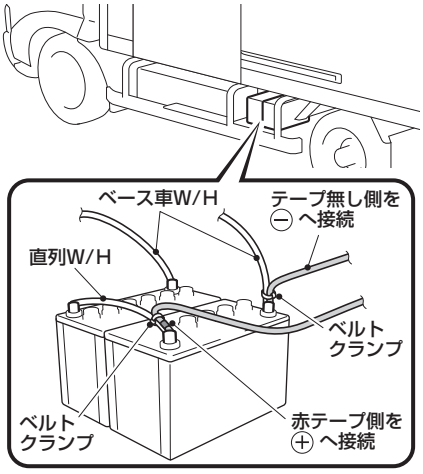
24V 車..... 24V/35W
12V 車..... 12V/35W

スライドドアローラーの点検

12 か月ごとに各スライドドアローラー（27 ページ参照）の点検をしてください。
●割れ、欠損がないことを確認してください。

バッテリの交換

スライド式サイドドア装着の 24V 車



スライド式サイドドア用イージークローザーの電源は、バッテリから直接取っています。（12V で作動します）
バッテリ交換するときは、必ず左図の通りに接続してください。

知 識

必ず左図のように接続してください。
接続を誤るとイージークローザーが作動しなくなります。
●配線のクランプは誤った接続を防止するために設けられていますので、クランプは絶対にはずさないでください。

MEMO

MEMO

MEMO

12か月定期点検整備記録簿

分解整備記録簿

該当なし	／	異常なし	レ	交換	x	締付	T	清掃	C
調整	A	修理	△	分解	○	給油	L	省略	P

点検の結果および(分解)整備の概要

■電気廻り点検
- ☐ 作業灯のON-OFF

■ドア廻り点検
・バックドア・サイドドア
- ☐ 開閉時の作動状態
- ☐ シールの摩耗・破れ
- ☐ スライドドアローラーの点検

■ロック廻り点検
・ワンタッチロック式
- ☐ 機能・摩耗・損傷
- ☐ 非常解錠レバーの作動確認

■シャッター廻り点検
- ☐ 開閉力・ローラーの回転
- ☐ 機能品の変形・損傷・組み付け

・ワイヤ
- ☐ 素線切れ・錆・腐食
- ☐ ドラム巻き取り

- ☐ レールの変形・損傷・組み付け状態

・巻き取り機構
- ☐ シャフトの変形・損傷・回転
- ☐ ワインディングドラムの損傷・巻き取り
- ☐ シャフト取り付けブラケット・アンカブラグの機能
- ☐ スプリング機能・十分な反発力

■リヤボデー廻り点検
- ☐ 各部取付部のゆるみ、ガタ、損傷

■24か月毎の交換
- ☐ ワイヤの交換

■その他必要となった点検整備の内容および主な交換部品

ボデー型式			
架装物名	アルミバンS		
ボデーNo.			
お客様の業種・積載物		架装メーカー名	トヨタ車体(株)

依頼者の氏名又は名称及び住所	
氏名又は名称	
住所	

メンテナンスに関するアドバイス	

型式	初年度登録または初年度検査年

自動車登録番号又は車両番号（左記の無い車両にあっては、車台番号）

自動車分解整備事業者の氏名又は名称及び事業場の所在地	
氏名又は名称	
事業場の所在地	

認証又は指定番号	点検の年月日
	年　月　日

分解整備（点検）時の総走行距離	整備を完了した年月日
km	年　月　日

整備主任者の氏名

アルミバン S

適用車種	トヨタ　ダイナ、日野　デュトロ
適用型式	XZC ／ XZU ／ XKC ／ XKU ／ KDY ／ TRY

トヨタ車体株式会社

車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

〈注文装備品のお問い合わせは下記へお願いいたします〉
特装福祉事業部
TEL（0566）36-2497　　FAX（0566）36-2498

TV-08-C（4）